

# 平成 27 年度 生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況の調査について

## ➤ 調査目的

がん検診を効果的に行うには適切な精度管理がきわめて重要<sup>注)</sup>です。また自治体のがん検診においては、各都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会（以下、協議会）が精度管理を主導することが求められています。そこで、各都道府県の協議会がどのように精度管理をされているかを把握するため、都道府県チェックリストの遵守状況や、がん部会の開催状況等について調査を行いました<sup>※1</sup>。

※1 この調査は平成 23 年度から開始し、今回は 5 回目にあたります。調査票の作成及び調査結果の分析については、平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（がん対策推進総合研究事業）「検診効果の最大化に資する、職域を加えた新たながん検診精度管理手法に関する研究」班（研究代表者 斎藤博）の協力を受けました。

### 注) 精度管理の重要性について

がん検診は、有効性（がん死亡率減少効果）がある検診を前提に、精度管理により質を高く維持することで初めて成果につながります。これは海外で死亡率減少を実現している国で示されており、精度管理体制の水準の高低によって、検診の成果（死亡率減少）があがるかが決まります。

また検診には必ず不利益（検査による合併症、偽陰性、偽陽性など）が存在します。精度管理は不利益を極力抑え、最小化するためのシステムとしても不可欠です。

このシステムがないと、検診規模が拡大するにつれ不利益が増大して利益を上回ってしまい、検診の成果が期待できないだけでなく、住民に不利益のみを与える可能性もあります。

精度管理の手法は平成 20 年に厚生労働省から公表\*されました。都道府県が行う精度管理の要点は、市区町村や検診施設の間の質のバラつきを抑え、どの地域の住民に対しても同等の質の高い検診を提供することです。

\* ホームページ「科学的根拠に基づくがん検診推進のページ <マネジメント>」参照  
<http://canscreen.ncc.go.jp/management/index.html>

## ➤ 調査方法

平成 27 年度の協議会の活動状況について、各都道府県のがん検診担当課宛にアンケートを実施しました。調査期間は平成 28 年 1 月～3 月（年度をまたいで活動された場合は、期限を 8 月末日まで延長）としました。調査対象は、胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会としました。

### ◆ 調査項目

#### 調査 1. 都道府県チェックリストの遵守状況（平成 27 年度）

厚生労働省が公表している「事業評価のためのチェックリスト（都道府県用）」<sup>※2</sup>の遵守状況を調査しました。

調査では、平成 27 年度の精度管理体制を伺っており、そのうちプロセス指標等の精検結果の分析に関する項目については、対象年度を平成 25 年度<sup>※3</sup>に指定しました。（平成 27 年 6 月の地域保健・健康増進事業報告では平成 25 年度の精検結果を提出することになっており、多くの行政担当者が把握できる最新のデータが平成 25 年の精検結果であるためです）。

※2 このチェックリストは厚生労働省の「がん検診に関する検討会」および「がん検診事業の評価に関する委員会」において、都道府県が遵守すべき精度管理の要点がまとめられたものです。

※3 一部の県は、従来から分析対象を3年前（或いは1年前）のプロセス指標に設定しており、今回からそのようなケースも○（遵守）として集計しました。

## 調査 2. 協議会（がん部会）の活動状況（平成 27 年度）

### ー がん部会の開催状況、及び検討結果（地域の精度管理評価）の公表状況

平成 27 年度のがん部会が開催されたかどうか、及び、都道府県のホームページ上で以下 7 項目の情報が公表されたかどうかを調査しました。

- ・ 市区町村のチェックリスト遵守状況（市区町村名入りが必須）
- ・ 検診機関のチェックリスト遵守状況（検診機関名入りが必須）
- ・ 市区町村のがん検診プロセス指標（市区町村名入りが必須）
- ・ チェックリスト遵守状況が要改善の市区町村名と、改善指導の内容
- ・ チェックリスト遵守状況が要改善の検診機関名と、改善指導の内容
- ・ 精検受診率が要改善の市区町村名と、改善指導の内容
- ・ 都道府県のチェックリスト遵守状況

## ◆ 評価方法

### 調査 1. 都道府県チェックリスト（64～68 項目）の遵守状況

チェックリストのうち、×の項目数により以下のように評価しました。

- |                 |
|-----------------|
| A: ×の項目数が 0     |
| B: ×の項目数が 1-18  |
| C: ×の項目数が 19-36 |
| D: ×の項目数が 37 以上 |
| E: 無回答          |

### 調査 2. 協議会（がん部会）の活動状況

7 項目のうち×の項目数により以下のように評価しました。

がん部会の検討結果が公表準備中の都道府県につきましては、今回は評価保留とします。

- |  |
|--|
| A: ×の項目数が 0                                      |
| B: ×の項目数が 1-2                                    |
| C: ×の項目数が 3-4                                    |
| D: ×の項目数が 5 以上、公表未実施（今後も公表の予定がない）                |
| E: 無回答、がん部会未開催（今後も開催の予定がない）<br>がん部会に相当する組織が存在しない |

## ➤ 結 果

調査 1、調査 2 とともに 46 都道府県から回答を得ました。次頁以降に調査結果を示します。2 つの調査が共に「C」評価以下の都道府県には、改善に向けて努力していただくようお願いしました。